



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成7年2月1日現在)

総人口23,547人(△11)	出生 19人
男 11,017人(△9)	死亡 23人
女 12,530人(△2)	転入 60人
世帯数 8,604 (△12)	転出 67人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長



梅の花

梅の季節——如月の訪れである。花鳥風月の中にあつて、極寒にさらされながらも力強く光る梅の花一輪……。

錦江小学校の近くにひっそりと咲き、ずっと子どもたちを見守ってきた。

錦江小学校は、明治十五年九月二十三日創立。その後、小鳥尋常小学校、錦江尋常小学校、錦江小学校とその名を変えてきた。そこには、現代

では計り知れない歴史の変遷（へんせん）がうかがえる。

だが梅の花は知っている。勉学の道は生やさしくはないが、決してくじけてはいけない。学校という太い幹から伸びた小たな枝に、みごと花と咲く日がくることを……。

いつかはきびしい社会の幹に花と咲く錦江の子ら……

平成7年

2

月号

今月のページ

☆阪神・淡路大震災に学ぶわがまちの防災を考える…
2～5ページ ☆住民票の記載が一部改正・リフトバス
を購入……6ページ ☆成人式……7ページ ☆20才の主張
……8～9ページ ☆椋鳩十文学記念賞受賞式……10ページ
まちの話題……11～12ページ ☆アンさんの英会話教室・
かじっガラス……13ページ ☆スポーツ……14ページ ☆椋鳩十
・加治木文化財ウォッチング……15ページ ☆おしらせ……
16ページ

特集



わがまちの 防災を考える

手のつけられないような
大火災のつめあと……

未曾有の大惨事を引き起こした兵庫県南部地震。その死者は五千人を上回り、被災者は三十万人にものぼるといわれています。マグニチュード七・二の直下型地震に備え得る防災対策は、おいそれとは立てられないでしょうが、これまでの防災システムを根本的に考え直す必要に迫られたことは間違いないありません。

そこで、わがまちの防災システムを見直してみよう。

一昨年は、水害や台風の猛威に身の縮む思いをした年でした。幸いにも加治木町は、大きな災害には見舞われなかったものの、河川や道路、山などが崩れ、その復旧には多くの困難と費用を要しました。その経験と阪神大震災の教訓を生かして、これからの防災対策をしっかりと見据えていかなければなりません。

しかし、マグニチュード七・二の直下型地震を基準に根本から変えるとなると、多額の費用と歳月を必要とします。町の規模から考えて、これまでの公共建物や橋などを、いままぐ全部作り直す訳にもいきません。長期的プランのもとに、従来のものも修繕補強していくことが必要になります。

町の防災計画は、次の項目から形成されています。

- 〔災害予防計画〕
 - 災害危険地域の調査把握 防災施設及び物資の整備 訓練計画 防災知識普及計画
 - 〔災害応急対策計画〕
 - 組織動員計画 気象警報時の伝達計画 災害情報等の収集報告計画 災害通信計画 災害広報計画 避難計画 水防計画 消防計画 行方不明者の捜索及び死体の収容処理、埋葬計画 食糧供給計画 衣料生活必需品等物資供給計画 応急仮設住宅の建設及び住宅の応急修理計画 給水計画 医療及び助産計画 防疫、清掃計画 障害物除去計画 輸送計画 文教対策計画 自衛隊の災害派遣要請計画
 - 〔災害復旧計画〕
 - 農林水産業応急融資 生活確保資金融資
- 以上ですが、平成六年度の防災会議で危険場所に指定された地域は次のとおりです。この付近を通りかかるときは、十分な注意を払ってください。
- ① 小山田・町道地久里線（落石）
 - ② 小山田・伊部野（地滑りカ所）
 - ③ 小山田・井手向（土砂崩壊）
 - ④ 木田・谷ノ口（土砂崩壊）
 - ⑤ 反土・棚目（土砂崩壊）
 - ⑥ 西別府・宮田（土砂崩壊）
 - ⑦ 小山田・三ノ塚（土砂崩壊）

阪神・淡路大震災に学ぶ!



見たすかぎり毛布の海……

⑧ 西別府・論之迫（土砂崩壊）

⑨ 木田・高倉（土砂崩壊）

⑩ 小山田・伊部野（土砂流出）

⑪ 木田・弥勒、西ノ原（土砂流出）

⑫ 小山田・上新開（土砂流出）

⑬ 〃（〃）

⑭ 小山田・下新開（〃）

⑮ 小山田・下学力（〃）

以上の十五か所ですが、これらの問題か所は国や県と協議され、治山工事年次計画を立てて整備を進めているところです。しかし、これらは町単独でできない大がかりな事業のため、緊急順位などにより計画通りに進まない場合もあり、町としては非常に苦慮しているところです。

また、そのほかにも危険か所に指定されないまでも、非常に危ない所があります。昨年の城ノ坂がいい例です。亀裂は外見だけでは判断できないのです。それに、地震は危険か所だけをねらってくるのではなく、一番安全だと思っているあなたの家を襲うかもしれないのです。

地域ぐるみで防災計画を

われわれは阪神大震災を目の当たりにして、地震の猛威はもちろん、住宅密集地帯における二次災害（火事）の恐さをいやというほど知らされました。それをただ傍観しているわけにはいきません。

その教訓を生かして、行政の課題とは違った観点に立ち、自分たちでできる地域ぐるみの防災計画を立てる必要があります。

地域には住宅密集地、繁華街、商店街、また裏山を控えている所など様々な形態があります。それらを考慮して、その地域独特の防災計画が大事になってきます。

（自治会ぐるみ）

- ・防災訓練
- ・避難場所周知の徹底
- ・隣人や行政との連絡網（個人）

- ・非常時の脱出口の確認
- ・タンス等が倒れないような措置
- ・出入り口に物を置かない
- ・火気のと始末

- ・非常持ち出しの準備など……

また、いざ地震となったら冷静に行動することも大事です。

そのほかには地域消防団との綿密な打ち合わせも大変重要です。緊急時の場合、最も頼りになる方々なのです。

消防に関しては、非常災害時に際して、隣接町の始良、隼人、溝辺町との相互応援協定も結ばれています。

ボランティア活動

神戸地区の避難場所でも、たくさんボランティアが活躍していま

一昨年の水害から (加治木町内)



城ノ坂のガケ崩れ！



すが、彼らは決して、行政や人から頼まれたわけではありません。目の当たりにしたその惨状に心を痛め、「人間として何かしなければいけない」という使命感に突き動かされたのです。

これはかねてからの教育も大事なことです。人間本来の持つ優の感覚に目覚めた結果で、誰でもその優の心は持っているのです。だがそれには勇気がいります。決して見返りはないのですから。しかし、自分でなし遂げた善行の味は無上の喜びとして、自分にはねかえってくるのです。それは至福ともいえる人間の最上級の喜びなのです。

地震発生からすぐ、加治木町内からも神戸の被災地に救援物資を届けたり、「かじつガラス会」や「たかんばつちよ会」などの有志が疎開受け入れを申し入れました。現在、小学生と中学生が加治木町で避難生活を続けているということです。

「自分の身になって考え、困っている人には温かい手を差しのべましょう。」

このように、いざ災害！となったら、さまざまなことが懸念されます。みんなでいま一度、災害対策について再考することが大事でしょう。

地震だ！ そのときの心得10か条

1 グラッ！ときたら 火の始末

「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、ガスコンロやストーブなどの火を消す。

2 窓や戸を開けて 出口の確保を

とくに鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがある。



7 正しい地震情報に 耳をかせ

うわさやデマに振り回されない。トランジスタラジオやカーラジオで正しい情報を。

8 避難は冷静に、 秩序正しく。

決められた避難場所に、決められた経路を、できるだけ集団で歩いて避難を。持ち物は最少限に。

9 狭い路地や塀ぎわ、 がけ・川べりなどに 近づかない

ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので要注意。

3 テーブルの下など に身をふせる

倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくす。トイレ・風呂場・押入れも比較的安全。

4 あわてて外に 飛び出すな

どんな大地震でも大揺れは1分程度。あわてて外に飛び出すと、瓦やガラス・看板などの落下で、かえって危険。



10 山崩れ・がけ崩れ・ 津波に注意

ラジオやテレビで正しい情報入手する。津波警報が発令されたら、急いで高い場所に逃げる。



5 火が出たら 初期消火を

「火事だ！」と大声で叫び、隣り近所にも協力を求める。炎や煙にまどわされず、できるだけ近寄って火を消す。

6 みんなが助け合っ て応急救護を

お年寄りやからだの不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなが助け合う。応急手当などもみんなが協力して。

わが家の

防災チェックは

これで安全

〔例〕

区 分	今までの続柄	新しく記載される続柄
嫡出子（婚姻関係で生まれた子）	長男・二女等	子
特別養子（養親の実の子となる）	長男・二女等	子
養 子（一般に言う）	養 子	子
世帯主（父）に認知されている嫡出でない子	子	子
世帯主（父）に認知されていない嫡出でない子	妻（未届）の子	妻（未届）の子
妻の連れ子（世帯主が夫である場合）	妻の長男・二女等	妻 の 子
夫の連れ子（世帯主が妻である場合）	夫の長男・二女等	夫 の 子
事 実 上 の 養 子	縁 故 者	縁 故 者

住民基本台帳 (住民票)

事務処理要領が
一部改正されます

(例)

長男、二女等 → 子

自治省により、「住民基本台帳事務処理要領」の一部が平成六年十二月に改正されましたので、その概要をお知らせします。

▽…改正の内容は…△
○住民票に記載する世帯主との続柄が一部変わります。
○その目的は、これまでの親族関係には何ら影響力はなく、あくまでも住民に係わるプライバシーの保護にあります。

○実施日は平成七年三月一日です。
○記載例は次のとおりです。

ご利用ください

身障用リフトバスを購入

社会福祉協議会

社会福祉協議会では、身体障害者の方のための「リフトバス」を購入しました。

これは、車イスなら二台、寝台（ストレッチャー）なら一台収容できるもので、介護者も五人までは大丈夫。運転手は、ボランティアの方が五人、福祉ドライバーとして登録されています。

寝たきりの方を寝台のまま家庭

さちかぜ号と命名



から病院まで送迎したり、車イスの方を年に一回ぐらい遠出させたいときなど、いろいろな活用ができます。

使用料は無料。個人の方や施設の方でも利用できますので、社会福祉協議会まで申し込みください。申請は一週間ぐらい前をお願いします。

町社会福祉協議会 ☎62-2041



車イスは二台
寝台は一台

収容できます。



晴れやかな着物姿に……

成

式

人

大人の自覚を胸に

二百七十七人が出席

町成人式は一月十五日、新成人者二百七十七人を迎えて福祉センターで開催されました。

式典は、小野美樹子さん重豊美さんの息の合った二人の町民憲章唱和で開幕。引き続き宇都宮町長が「人間の本质はダイヤモンドの原石のように輝いています。しかし、それも磨かなければ発揮しません。これからは幾多の課題もありますが、みなさんの若い力に期待します」などあいさつ。その後、宇都宮町長から新成人代表の田上真由美さんに記念品が贈呈、新成人代表の武井康文さんが留岡教育委員長に記念品を寄贈。そのほか四人による二十歳の主張や恩師からのメッセージなどが行われました。

この日は、晴れやかな着物姿に女性たちはまぶしく光り、服装からは男性陣はやや地味な感じでしたが、みんなの目は、新成人の自覚を胸に大人の眼差しへと変貌し、しっかりと前を見える態度が実に頼もしげでした。

町内の対象者は三百八十三人、この日は二百七十七人が出席して七二・三%の出席率でした。おめでとうございました。

20歳になったら

国民年金！

21世紀に入ると、わが国は超高齢化社会を迎えます。

成人したばかりのみなさんにとっては、まだ老後生活の安定などあまり気にかけないでしょうが、私たちはいつまでも若く元気でいられるとはかぎらないのです。

生命保険に入るから……貯金するから……という方もいるでしょうが、個人の力には限界があります。

「国民年金」はその名の通り、みんなで加入し、みんなで受給するための国の制度です。

働ける世代が保険料を出し合い、それを財源として、お年寄

りの世代に年金を支給すること、で、老後の生活の安定をはかる世代と世代の助け合いの仕組みなのです。

みなさんが国民年金に加入して、保険料をきちんと払っていただければ、みなさんの老後も次の若い世代が助けてくれるということです。

平成三年四月から20歳以上の学生のみなさんも国民年金に加入しなければならぬようになり、ケガや病気で障害者になった場合の保障が受けられようになりました。

みなさん、20歳になったら国民年金に加入しましょう。

年金ですよ



20才の主張

紙面の都合で一部割愛させていただきます。



山崎貴臣さん

(小鳥)

新年明けまして

おめでとうございます。

本日は、みなさん成人式を迎えて心境はさまざまだと思います。私はどちらかというところ「もう二十歳なのか」という感じです。ふり返ってみれば、この二十年間、とても短かった気がします。生まれたときからずっとこの加治木で過

ごし、周りの人々に迷惑をかけながらも遊んでばかりだったと思います。そんな私でも今では鹿児島大学に通う学生です。入学当初は、束縛された高校生活から急に開放された大学生活に移り戸惑う面もありましたが、今は加治木高校出身の同級生中心に集まった「S・G・D」というバンドをやっています。

ます。私はこのバンドを通してさまざまな経験をしました。その中の一つに、「人前で何かをする」ということがあります。私は昔から「人前で何かをして目立ちたい」と思っていました。それは、だれでも一度は思うことでしょうか。しかし、このバンドを通して「人前で何かをする」ということの難しさをよく知りました。私たちのバンドは、見て満足してもらいたい。そのためにアイデアもいろいろ凝ったものにしなければなりません。やがていいアイデアが出てきて、形も固まったらそれを繰り返し練習です。もちろん、

その中でケンカもありました。だけれど、それを乗り越えてやっと人前で出来るのです。これから何度でも人前に出ることがあるでしょう。そのとき、この経験をうまく生かせればと思います。最後に、私はこの二十年間、後悔したことは一度もありませんと言ったらウソになりますが、これからは後悔のない人生を送りたいと思います。なぜなら人生に「もしも……」という言葉は通用しないからです。みなさんも悔いを残さないで、二十歳という時間を楽しく大切に過ごしてもらいたいです。



園田雅史さん

(須崎)

今日まで私たちは、両親や先生方そして多くの友人や諸先輩方から幾多の助けを得、また様々な影響を受けて、自分の生き方の糧としてきました。ここまで私たちを支えていただいたすべての人々に、いま心から感謝いたします。

私は、今日まで多くの人々との素晴らしい出会いを体験してきました。その一つひとつがどれも、かけがえのない私の財産となっています。私は、人生とは素敵な出会いを日々繰り返していくことによ

て、より豊かになるものだと思います。現在の私を彩ってきたのは、いま周りにいる人々との出会いであり、明日からの私の人生は、まだ知らない誰かとの出会いによってより一層素敵なものとなることでしょう。だから、私はもつとたくさんの出会いをするために、今はまだ見知らぬ世界へと、どんどん飛び込んでいきたいと思う。

現在の豊かな日本に生まれ何一つ不自由のない毎日を送ることに慣れた私たちは、とかく無気力で没個性的な世代だと言われています。そして現実社会の荒波は、私たちの予想よりもはるかに厳しいものだと思います。そのなかで、自分を見失わず、しっかりと足をつけて生きていけるかは、私たち自身にかかっています。これからの社会で生きていく上で必要なのは強烈な個性だと思うのです。

西暦二千年まであと五年となった今年、成人を迎えて間違いなくこれからの日本の主役となるのは私たちです。だからこそ私は、誰の真似でもない自分だけの生き方をしたい。人の機嫌をうかがいながら生きることも、媚を売る必要もないと思う。スポットライトは確かに私たちを照らしています。明日の日本、いや世界のステージに立つて、私たちにしかできないやり方で、思う存分その主役を演じましょう。それは、自分にウソをつかず、正直に精一杯毎日を生きていくことだと思います。まだまだ素晴らしい自分を見つけないために、私はもつと多くの人と出会い、本音で語り、泣いて、笑って、ケンカをしてお互いを高めていきたい。刺激のない毎日を死んだように送るつまらない生活はまっぴらです。二十歳になり、落ち着いたねと言われるより、私はむしろ二十歳を迎えたからこそ、より一層ギラギラした生き方をしたい。一度しかない人生を悔いなく生きるために、私が確かにそこに生きたという証を残すために、これからも思うまま、感じるまま、私は私でありつづけたいと思う。



楽しそうですね……



大内山 直美さん

(須崎)

私は一人では何もできません。家族が温もりを持って私のそばに存在するからこそ、私は潔い私でいられたのです。

そんなことにも気づかず、自分は強い人間なんだと思い込んでいたのが私であり、そんなことにも気づけないほど、たくさんの愛をくれたのが私の両親です。

夢が変わることに、「尊敬する人」をその象徴かのように変えてきた私が、いま尊敬できるのは両親です。どんな偉い人でもありません。両親です。

けれども幸せ者の私には、見え

ないものがたくさんあります。たくさんの愛に守られてきれいなものしか目に写らなかったのです。

きれいなものだけ見て、その中でそれでも小さな苦しみを見つけ出して生きてゆくこともできます。

私が、まだほんの若かった時には(今でも十分若いですが!)、大きすぎる夢を持っていて、毎日がわくわく過ぎてゆくだけでした。

だんだんと見えなかったものが見えてくるようになり、今では毎日が恐ろしいです。同じ夢を見たとしても、胸の躍る気持ちではなく、そこには緊張感しかないでしょう。

それはただ想像するだけでなく、夢を実現に変える方法を私が学んだからです。私はまだ学生です。これからは学ばなければならぬことが多すぎます。

しかし、ここでひとつ反省しておかなければならないのは、私の社会に対する考え方です。私は高校のとき、進学の道を選びました。

心理学を学びたいという気持ちのほかに、自分の可能性を探す時間がどうしても欲しかったのです。

心のどこかに偉そうな目標を掲げた逃げ腰の私がありました。就職してしまったら、私のすべてが決められてしまうような気持ちで、私は逃げたのです。

旅立ちのわけは新しい希望ばかりではありませんでした。お恥ずかしい話ですが、こうゆう自分はひっぱたいておく必要がありますので……。

私の両親は、それを知ってか知らずか、私に四年の月日を与えてくれました。それから二年が過ぎようとしています。そして、大きな間違いに気づきました。いかなる状態においても、人間は光り輝くことができるのです。私は、凡庸のなかに真理をみたような気がします。

この反省をもとに、どんなピンチがきても「何とかなる」とへこたれずに乗り越えられる力を、あと二年の間に少しでも身につけておきたいのです。そして私はもっと重要な答えをださなければなりません。

今まで、私を大きくしてくれたのは両親です。そして、これから、社会が私を育てます。忘れてならないのは己です。己の魂の響きを感じながら生きてゆきたいのです。



竹添 智美さん

(東吉原)

新年おめでとうございます。

「儀式」というのは、今の自分を自覚させるための最もよい手段であるということ、大学の講座で習いました。成人式は、昔から行われているまさに伝統のある典型的な儀式のうちのひとつです。

私も二十歳になり、今年無事に成人式を迎えることができました。

私が今まで、そして現在こうして幸せな人生を送っているのは、両親の深い愛情とまたほかの大勢の方々の支援があったからだだと思います。

現在、私は京都で一人暮らしをしています。一人暮らしをしてはや二年近く経とうとしています。いまだに様々な刺激に出合います。そして今まで気づかなかった自分を多く感じるようになりました。自分を見つめ直す時間というのがこんなに大切なんだと改めて気づきました。友人の意見を聞いたり、自分の意思を述べたり、そうしたことに關して今までの私は無関心でした。しかし、郷里鹿児島から遠く離れた京都での多くの友人や先生、あるいは多くの苦難に出会

い、物事の価値観というのは、十人十色であるということを知りました。そして、自分の信念に向かって生きていくことの素晴らしさを一人暮らしで教わりました。また、両親の存在の大きさ、ふるさとの存在の大きさに離れてはじめて気づきました。

まだ学生なので、本当の一人前とは言えませんが、何年かあとに社会に出るとき、「自分らしさ」だけは常に持っていようと思えます。

最優秀賞は

大野貴博君

(東京都・小四年)

椋鳩十文学記念館賞受賞式



みんなでパチリ!

読書感想文コンクールの受賞者は、「広報かじき」十二月号に掲載済みです。

また、読書活動推進運動の表彰も合わせて行われました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

★朝読み夕読みの部

一年・寺師麻衣(永小)▽二年・榎園緑(柁小)▽三年・市来沙和子(柁小)

★図書館を利用してよく本を読んでいる者の部

全国読書感想文コンクール椋鳩十文学記念館賞受賞式が一月二十二日、最優秀賞の大野貴博君(東京都朝日小四年)らを招いて福祉センターで開催されました。

この受賞式は、椋鳩十の誕生日の一月二十二日に毎年開催されているもので、今年で四回目。作品は回を重ねるごとに向上し、審査委員の方々のうならせるほどの出来ばえで、関係者は大喜び。審査委員長の新納教義・県芸術文化振興会会長が「本を読むことは、大きなソフト面での財産です。これからも読書の習慣を大事に」と結ばれました。

〔錦江小〕一年・瀬戸口佳代・二見幸宏▽二年・永吉彩美▽三年・東史織・大迫美香▽四年・瀬戸口誠・大迫真由美▽五年・日高恭子・伊藤寛子▽六年・隈原こず恵・福永愛子

〔竜門小〕四年・前田大作・脇修一▽五年・犬童幸生・犬童努

〔永原小〕二年・大園紀子▽三年・外村佳奈▽四年・大宮路香菜▽五年・外村理恵▽六年・服部志保

〔加治木小〕一年・柳川慶允・内



椋鳩十の世界

田誠・松尾恵利▽二年・内田美由樹・岩元ゆかり・西村将司▽三年・村井茉友・松崎仁美・淵脇栄子▽四年・唐崎由美・宮内佳代子・井手上歩▽五年・小笹ひかる・下楠蘭彩華・加治屋美香▽六年・小嶋知華・川原梓・堂嶽由紀

〔加治木中〕一年・柏木智美・清水めぐみ・濱屋敷紗都子・富永真也・原田雅也・郡山浩行・森島和代・池江則崇・南和絵・幸加木理恵・北山聖一▽二年・末吉徹也・梶原良隆・鶴井大樹・山口あかり・前田世紀・山崎梓・郡山綾乃・丸尾千恵・日高良恵・小笹まどか・島田大樹▽三年・神田昌子・谷口潤・坂上広明・塩浦康弘・小林由美恵・原見貴子・丸岡紀子

★本当に本好きだと自他共に認められる者の部

〔柁城小〕一年・正村勇樹▽三年・西村直子▽四年・宮内佑希▽六年・石原朋大

〔錦江小〕二年・吉積奈生

〔竜門小〕三年・福元智博

六年・猪俣大輔

★読書グループの部

ふたば親子読書会

最優秀賞

ぼくらは地球の仲間

大野貴博

東京都豊島区朝日小学校4年

ついに、動物たちの怒りが爆発した。これは、自然環境を破壊し続ける人間に、動物たちが挑戦する物語だ。

「ぼくらの住める美しい地球を返せ!」という動物たちの悲しげなきげび声が聞こえてきた。ぼくは、この本を読みながら、いつか見たドラえもん「さらば、キーぼう」を思い出した。人間たちがゴルフ場建設のために、山々を切りくずし、住みかを失った植物たちが、人間に逆しゅうする内容だ。どちらも、人間の身勝手な開発が原因になっている。

動物たちが、ゴミ山脈を作り出した時、人間たちが、ごみ出しを反省すればよかったのに。ゴミは、人間が作ったもののなのに、どうしてきらいなんだろう。確かに、ぼくもゴミはきらいだ。ゴミはこのおいをかぐと、とてもくさい。自分たちが出した

ゴミは、自分たちできちんと処分すればいいのに、どんどんすてていく。ゴミを出すのが好きな人間の一番きらいなそのゴミで、山を作って、人間を困らせようという計画にはまいった。ゴミを出さずに、生活することなどできないのだから。

ゴミ山脈が、ウーン、ウーン、ゴーンと、うなり出した時、実に気味悪かった。いやなにおいが出たら、空から香水をまきちらし、メタンガスがふき出したら、山脈をけずりつつ海に投げ込む。自分たちの住まわりさえよければいい、という考え方がいけないんだ。決して人間は、地球の王様なんかじゃない。まっ黒な海が、地球の陸地を飲みこんでしまった時、背筋がぞつとした。何にもできずにながめる動物と、あてもなく船にげ出す人間。どちらにも力をかすわけにはいかない。そんなことにかかわらず、チベットの人やインディオの人々は、山の上でひそやかに、自然とともに住んでいたという。いったい、どんなくらし方をしていったんだろう。きっと、山のどうくつか、小さな木の小屋で少しの食りようを分け合い、動物の毛皮をきて、作物を育て、自然の中で仲間と助け合ってきたにちがいない。昔のくらし方で住んでいたら、地球はこんなにきたなくない

(次頁へつづく)

(前頁よりつづく)

らなかつたかもしれない。いくら高度な科学をもつていても、自然にはかなわない。動物たちは、開発と引きかえに、人間が見失ってしまった物を、ハッと教えてくれたのだ。

豊島区でも、ゴミ問題は深刻だ。ぼくの住む東京都内二十三区では、年間四百四十万トンのぼう大なゴミが出され、処理場建設に頭を痛めている。ゴミ処理場は、くらしやすい都会のうら側で、人々の生活をささえている。人間はぜいたくだ。お金さえもっていれば、何でもかんでも手に入り、自分の思い通りになると思っている。だけど、地球はだれのものでもない。人間、動物、植物、自然界のものすべてが、地球に生きる同じ仲間として、いっしょに生活して

いきたい。住みよい、きれいな地球にするために、一人一人が何をすればいいか考えていく必要がある。ぼくには何ができるだろうか。食べ物を残さず、きれいに食べる。まだ使えそうな物には、できるだけ利用する。捨てる、ときりサイクルでできるかどうか考える。

ぼくは、椋鳩十先生の本が好
きだ。読むたびに、心の中があつ
たかくなる。こごえ死にそうな
狩人をあたためた大シカ、子グ
マを助けようと、岩から滝つぼ
めがけてとびこんだ母グマ、砂
山にかくれて狩人の知恵に勝つ
た母ギツネ。ぼくたちがわすれ
かけていた、真の勇気とかやさ
しさを思い出させてくれた。

自然に対する思いやりの心を
失わずに、ぼくらの地球はぼく
らで守っていきたい。

「家族、ひとりひとりが主人公」

町 婦 人 大 会

しました。

〔加入団体〕

- ①町母子寡婦福祉会
- ②町民生委員会児童委員女性部
- ③町生活改善グループ連絡研究会
- ④町食生活改善推進員連絡協議会
- ⑤JAあいら加治木支部婦人部
- ⑥町生活学校
- ⑦加治木町PTA連絡協議会母親部会



ひとりひとりが真剣に



練習にも熱がはいります

馬踊りがなつかしくて……

御神馬の里に寄付

関東地区の加中同窓生

「遠く加治木を離れていても、幼いころの馬踊りの興奮が忘れられず、とてもなつかしくて……少しでも馬踊りの足しになれば」と

かみなさんの善意の力が地元の励みになり、また郷土文化の隆盛を後押しすることになるのです。ありがとうございました。

このほど、関東地区に住む昭和三十四年加治木中学校卒業生（増田義行会長・二十六人）のみなさんから木田大字の代表、弓場照雄さん宛に励ましの十万円が届けられました。

鹿兒島神宮初午祭——御神馬として境内にひしめく二十三、四頭の馬の先頭を切るのは、昔から木田郷のしきたり。今木田では、大字や青壮年会など地区をあげてその調教に取り組んでいます。

遠く関東の地にあつて、ふるさとを恋うる人たちの心情。あたたか（広報かじきが発行される頃は初午祭は終わっています。）

人命救助で表彰
錦海漁協

加治木警察署は一月二十六日、錦海漁協（組合員三百十人）に人命救助の感謝状を贈りました。

これは昨年十二月二十八日、良町の中学生二人がボートで釣りに出かけたまま行方不明になっていたのを、錦海漁協の組合員十五人が漁船七隻で錦江湾を搜索し、加治木沖五時の海上で発見して無事救助したものです。

松田繁美組合長は「当然のことをしたまでのことで、かえって恐縮しています。しかし海は油断すると牙をむきます。十分気をつけてください」と話していました。



海のことならまかせて…

おてらdeオペラ

性応寺でオペラを歌う

西村 玲子 さん

「性応寺の本堂でオペラを」と一月十八日奇想天外な催しが行われ、本堂の畳の間を埋めた二百五十人の聴衆は生のオペラを楽しみました。

これを企画した実行委員のメンバーは、町内若手有志で組織する「かじつがらす会」「たかんばつちよ会」「PEC」で、出演したのはオペラ歌手として全国で活躍中の西村玲子さん。演出は西村さん自身で手掛けた二部構成で、数珠を片手にあでやかな着物姿で現れたときには、さすがにみんなはびっくり。

これを企画した実行委員のメンバーは、町内若手有志で組織する「かじつがらす会」「たかんばつちよ会」「PEC」で、出演したのはオペラ歌手として全国で活躍中の西村玲子さん。演出は西村さん自身で手掛けた二部構成で、数珠を片手にあでやかな着物姿で現れたときには、さすがにみんなはびっくり。

セレモニーで、西村さんが呼びかけて兵庫県南部地震の被災者の眼目をみんな祈った後、「いつかきた道」などの八つの歌を、ユニークな話術でみんなを和ませながら披露。これまで加治木では聞けなかった生のオペラに、扉の中の仏さんはびっくりされた様子でしたが、みんなは熱心に耳をかたむけていました。

この催しは、来年度完成予定の文化会館の運営を模索、研究している町行政にとっては、町民の芸術文化への興味深さを知る上でいいものさしになったことでしょう。

この催しは、来年度完成予定の文化会館の運営を模索、研究している町行政にとっては、町民の芸術文化への興味深さを知る上でいいものさしになったことでしょう。

河川愛護で表彰

加治木町建設同志会



おめでとうございます

加治木町建設同志会（岩澤英美会長）は二月二日、河川愛護運動推進協力で加治木土木事務所長から表彰されました。

これは、同会が県の河川愛護月間に合わせて「町内の川をきれいにしよう」と毎年、網掛川流域などを清掃している功績が認められたものです。

おめでとうございます。



オープンをまつさえずりの森

さえずりの森

いよいよ四月オープン！

ただいま「さえずりの森」は町民の憩いの遊び場、保養地としての整備を終え、オープンの日を今か今かと待ちわびているところです。

「森開き」は四月一日です。みなさん、ご家族、お友だち連れで、静かな森でゆつくりと心を洗い直してみませんか。PTAやスポーツ少年団の研修会や

キャンプにと、幅広くご利用できます。

宿泊施設は、コテージ二棟、バンガロー三棟、ミニバンガロー二十棟。そのほかに、管理センターには食堂があり、焼肉パーティーのセット（野菜、肉類を含む）も準備されています。

よし、今年の夏は「さえずりの森」に決めた！



熱唱する西村さん

優勝旗二旗を寄贈

町内一周駅伝にと

林敏克叙勲記念実行委員会

「町内一周駅伝へ」と優勝旗二旗が一月二十日、林敏克さんから宇都宮町長に寄贈されました。これは、昨年六月行われた林敏克さん（勲五等瑞宝章）の叙勲記念パーティー実行委員会から、女子の小・中学生用にと贈られたものです。

さっそく、この優勝旗は一月二十九日に行われた町内一周駅伝大会で授与され、それぞれ優勝チームは、大会を制した喜びとともに真紅の真新しい優勝旗の重さに、感慨もひとしおの様子でした。ありがとうございました。



真紅の優勝旗

アンの英会話教室

みなさん、お元気ですか。カゼはなおりましたか。

今月も英語の勉強で頑張りましょうね。

外国の人に対して、日本人たちは初対面でいろいろ聞きたいことがあるでしょうが、その中では英語で言えないことがいくつかあるでしょう。しかし、ある英語が出来る人は質問をしすぎて、相手のプライベートに入り込んでいることがありますので、外国の人にはどれぐらいまでなら O. K と言うことに気をつけなければなりませんね。

もちろん、総互理解を深めるように外国の人の日本での日常生活、育った背景と文化、習慣、日本の印象などを聞くのは全部大丈夫でしょう。しかし、相手の感情を害さないように非常に個人的な話題は避けた方がいいのではないのでしょうかね。

私がよく聞いた質問からいくつか選んでみました。どうぞ読んで下さい！

Can you eat sushi?

sashimi?

natto?

umeboshi?

お寿司は食べられますか。

刺身は食べられますか。

納豆は食べられますか。

うめぼしは食べられますか。

Can you read kanji?

speak Japanese?

drink shochu? (もちろん!)

use chopsticks?

漢字が読めますか。

日本語が話せますか。

焼酎が飲めますか。

おはしが使えますか。

もちろん、日本で2、3週間暮らした外国の人は皆おはしは使えます。そうしないと餓死するかもしれませんからね。(宴会はいつも和風の料理だからです。)

じゃあ、来月まで気をつけて下さいね。 Slan go foill,



▼阪神・淡

路大震災と命

名された兵庫

県南部地震。

そのタイトル

が地震の大き

さを物語って

いる。大正十三年午前十一時五十八分、関東全域を襲ったマグニチュード七・九の「関東大震災」に匹敵する大規模な災害ということだろう。

▼「地震、雷、火事、親父」

昔からいわれる恐怖観念の物指しだが、順番は比べものにならない。人間の怒りなどは微々た

自然の脅威にひるむな

しっかりと防災対策を

るもので、大自然はときには自らの大地をも破壊する驚異的威力を発揮する。それは自然が、いや地球が生きていることを証明するなものでもない。われわれ人間にはそれを押し止めるすべは何もなく、ただただ自然の脅威の前におののき震えているだけである。

だが動物たちは違う。特にネズミやナマズは本能的に地震を察知する能力にすぐれている。今回の地震でネズミが逃げたかどうかかわらないが、被災者の話では、朝方、浅い眠りの中で数匹の猫が騒いでいるのに気づ

いたが、それから間もなく地震が起こったことである。われわれ人間は、同じ動物として備わっていた何らかの能力をなくしてしまったのではないだろうか。だとすると、その要因は文明の発達にあるような気がする。動物学的に、文明に頼りすぎるあまり、本能が徐々に低下していき、次第に進化論の反対、退化の道に迷い込んでいったのではなからうか。文明の発達で地震は予想できる。だが動物が肌で感じるものとは異質のもので、絶対起こるという予知ではないのだ。

▼地震は止められないが、災害の後の対策は前もって準備ができる。自然が相手でもやれることはやるべきだ。自然の脅威にひるみ、ただそのままだと伏している人間ではない。それがほかの動物にできない人間だけに備わった能力ともいえる。

自然とはこれからも長い闘いが続いていく。いや共生していくとでもいうべきで、五十年、百年、二百年という段階ごとの災害対策プランもあつてしかるべきだろう。自然に生かされている人間だが、その先取りができるのも人間なのだから……。

小学生女子優勝

柁城ミニバスケットA

町内一周駅伝大会

町内一周駅伝大会は一月二十九日、加治木小学校をスタートする男子コースと女子コースに分けて開催されました。
成績は次のとおりです。

(敬称略)

- 〔小学生女子の部〕
一位 柁城ミニバス A 52分12秒
二位 柁城ミニバス B 54分11秒
三位 加治木ボール A 57分04秒
- 〔小学生男子の部〕
一位 加治木サッ A 45分12秒
二位 柁城サッ A 46分07秒
三位 柁城サッ B 48分08秒

(寒風ものとせず)



区間賞

- 〔小学生女子の部〕
1区 徳部 鮎美 5分18秒
2区 本中野陽子 7分59秒
3区 湯田かおり 8分29秒
3区 瀬戸口晴美 8分29秒
4区 田島 奈々 7分49秒
5区 後藤さやか 7分52秒
6区 岩沢奈津子 8分39秒
7区 東 亜希 5分30秒
- 〔小学生男子の部〕
1区 折口 憲蔵 4分30秒
2区 向江 優作 6分34秒
3区 佐藤真一郎 7分12秒
4区 川床 高志 7分23秒
5区 浜崎 翔 7分01秒
6区 緒方 芳道 6分57秒

- 〔中学生女子の部〕
1区 西園由衣子 4分43秒
2区 大山 由美 6分54秒
3区 正福真由美 7分29秒
4区 村尾菜美子 7分45秒
5区 末広 由紀 6分47秒
6区 山角 直子 7分26秒
7区 南 梨絵子 4分30秒
- 〔中学生男子の部〕
1区 原 伸吾 4分49秒
2区 西園由衣子 4分43秒
3区 正福真由美 7分29秒
4区 村尾菜美子 7分45秒
5区 末広 由紀 6分47秒
6区 山角 直子 7分26秒
7区 南 梨絵子 4分30秒

- 〔中学生女子の部〕
一位 帖佐中陸上部 A 45分34秒
二位 加中バスケット A 49分00秒
三位 加中陸上部 A 49分46秒
- 〔中学生男子の部〕
一位 加治木中 A 1時間13分23秒
二位 帖佐中 1時間15分07秒
三位 始良 1時間18分39秒
- 〔高校生男子の部〕
一位 加治木工業 1時間07分19秒
二位 陸上部 1時間07分19秒
三位 加治木工業 1時間07分19秒
- 〔一般男子の部〕
一位 加治木 1時間13分47秒
二位 消防署 A 1時間14分27秒
三位 役場 A 1時間18分59秒
- 〔オープン男子の部〕
一位 ヤマハ 1時間10分43秒
二位 鹿見島 1時間16分06秒
三位 始良ニユウ 1時間18分51秒

七十六人が腕を競う

町卓球大会

町卓球大会は二月五日、男女七十六人が参加して町営体育館で行われました。

成績(敬称略)

- 〔団体戦A級〕優勝：九電加治木
二位：鹿見島高専A
三位：NTT加治木・加治木クラブ
- 〔団体戦B級〕優勝：衛守チー
ム
二位：加治木クラブ女子A
三位：加治木工業C・加中男子A
- 〔団体戦C級〕優勝：加治木温泉病院男子
二位：加治木クラブ女子C
三位：加中男子B・勇樹・大塚成美
- 〔個人戦A級〕優勝：星原健二
二位：柳順一
三位：篠原大輔・平原雄三
- 〔個人戦B級〕優勝：衛守正明
二位：宇都ノ子
三位：福留浩二・衛守均
- 〔個人戦C級〕優勝：衛守優輝
二位：飯伏真一
三位：中川勇樹・大塚成美

- 〔小学生男子の部〕
1区 松尾 大佑 11分17秒
2区 前田 聖悟 10分14秒
3区 山口 幸伸 9分09秒
4区 脇之丸良一 10分48秒
5区 西 修平 11分16秒
6区 西 祐平 8分46秒
7区 古寺 大悟 11分39秒
- 〔小学生女子の部〕
1区 堂森 弘樹 10分30秒
2区 有蘭 共郎 9分22秒
3区 宇治野康広 8分50秒
4区 柏田 隆志 9分33秒
5区 齊藤 純一 9分59秒
- 〔中学生男子の部〕
1区 大園 哲也 8分10秒
2区 西 誠志 10分55秒
3区 村岡 達雄 10分55秒
4区 徳重 智浩 9分52秒
5区 岩戸 研一 9分39秒
6区 溝口 豊幸 10分24秒
7区 西保 浩一 10分25秒
- 〔中学生女子の部〕
1区 南 勝昭 12分20秒
2区 松岡 和久 8分42秒
3区 西保 浩一 10分25秒
4区 西保 浩一 10分25秒
5区 西保 浩一 10分25秒
6区 西保 浩一 10分25秒
7区 西保 浩一 10分25秒
- 〔高校生男子の部〕
1区 有江 勝成 10分45秒
2区 安藤 信一 9分13秒
3区 奥 一成 9分26秒
4区 中島 健志 9分57秒
5区 湯田 庸志 10分31秒
6区 新澤 順二 8分46秒
7区 神之田武文 11分14秒

棕鳩十先生とこしき島

昭和三十七年十一月、棕先生は東支那海の孤島こしき島においでになった。

当時、私はこしき島の手打という所に勤務していたので、数日間道案内かたがたお供することになった。

先生は村落の古老たちとお会いになり、また、実地に山野を歩かれて、今までに取材されたこしき島の材料の最後のたしかめをされたのである。

翌三十八年十二月、こしき島の野犬について書かれた「孤島の野犬」を出版された。

「榎蘭君、こしき島の野犬の物語が出来たよ。あげよう。」といって、その物語をくださった。

私はいただいたお礼とともにこう申した。

「もう出来たのですか。昨年十一月でしたのに。」

と申したところ

「君も案外のものにびっくりしているね。私はこしき島には十年がかりで行っているんだよ。」

つづいておっしゃるには、

「ひとつの作品をつくりあげるには、まず十年がかりなんだよ。もちろん十年の間にひとつだけ想を練っているの

はないけどね。」

私は、この道の精進に対して無知な自分が恥かしかつた。

以来、色々な作家の作品を読むたびに、この作品を書きあげるまでの作家の苦行を想起するようになった。

さて、話をもとにもどすことになるが、私は道案内をしなから、先生の健脚ぶりに驚いた。

当時、先生は五十七歳、私は四十七歳。それなのに先生の山坂を登られるたくましさにはほとほと感心した次第。

山越えの峠で一休み。汗をふきふき、東支那海の潮風に吹かれながら聞いた棕先生の人生哲学は忘れられない。

「大自然の営みは神秘だよ。文学は、無心」に出發する。人間も動物も、大自然の中にこそ、ほんとうの姿がある。」

「感動こそ人生の宝だよ。」

こういうことを語られながらじつと孤島晩秋の水平線の彼方を眺めておられた、あの時の棕先生の面影が、今も忘れられない。

棕先生との出会い、私の人生への大きな大きな支えである。

棕鳩十文学記念館長

榎蘭 高雄

加治木文化財ウォッチング(25)

▽阪神・淡路大震災と加治木△

桜島爆発記念碑

大都市「神戸」――。平和

の満ち満ちた日本で、五千人以上もの死者を出し、一瞬のうち二十万人とも三十万人ともいわれる帰る家のない避難民を生み出した恐るべき地震。誰もがその惨状を映すテレビにくぎ付けになったことでしょう。そして、(鹿児島に巨大地震は来ないのか、加治木は大丈夫か?)という不安感に襲われたことと思います。

鹿児島でも過去に、震度六の大地震が起きています。大正三年の桜島大爆発です。今回の直下型の地震とは少しその種類が異なりますが、このときの加治木の様子を記した石碑が柁城小学校の正門近くにありまうので、その内容を紹介しましょう。

「大正三年一月十二日、午前十時、桜島が大噴火した。その日は快晴だったが、黒い煙は天までとどき、噴煙は島を完全に覆い隠した。その後、加治木に避難船が到着しはじめたが、その惨状は見るに忍び難いものがあり、警察官や役場職員は救護



被災の重苦をきざむ記念碑

班をつくり世話をはじめた。午後六時になり、それまでの爆発と地震が起こり、停電した人々はみんな屋外に逃げ出したが、爆発は雷のように鳴り止まず、降ってくる灰は三十センチ以上も積もった。しばらくして、火山性の毒ガスや津波が襲ってくるという噂がひろまり、人々は西別府や小山田、横川、栗野、または柁城小学校に避難しはじめた。このため町内はパニックとなり、その後は道を歩く人もなく、空き屋だらけの状態だった。四、五日過ぎて、特に異変がなかったで人々は家に帰ったが、桜島からの避難民はその後も増えて、千人を越えた。精矛神社

や郡役所を避難所にして町民協力して救護した。その後避難した人も知人や親戚を頼って移っていったが、しばらく居残る人々には、網掛川の川原に仮設小屋を建てて移ってもらった。救護の費用は、県費と町民の援助費でまかなわれ、県外からの援助物資もたくさん届いた」

――この生々しい状況を、いったい何人ものが覚えていくことでしよう。神戸の災害は決して対岸の火事ではありません。私たちも大正三年の桜島大爆発や、一昨年の水害の教訓を風化させることなく、後世に語り継いでいきたいものです。



親子映画鑑賞会

(福祉センター)

日時 3月11日(土) 14時

映画 ①ゴンタと呼ばれた犬

②追いつ追われつ

チューワンニヤン

(棕鳩十文学記念館自由の館)

日時 3月26日(日) 10時

映画 ①王様の耳はロバの耳

②オペルウスのたて琴

主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子
多数ご鑑賞ください。
(都合によりフィルムを変更する
ことがあります。)

うぶ声



出生児

保護者

自治会

福山 愛良

洋一

赤坂

山下 未希

幸一郎

新中

諸岡 和

慎也

萩原

伊達 嘉人

強

赤坂

中山 京美

春喜

萩原

お引越先では
すぐ電気が使えます

九州電力加治木営業所

春は引越しのシーズンです。

お引越されるときは、できる

だけお引越される日の四、五

日前(月・金曜日)までに、最寄

の営業所へご連絡ください。

その際、「電気ご使用量のお知

らせ」票や、「電気料金領収証」

に記入してある「お客さま番号」

もお知らせください。

電気は、お引越される日ま

で自由に使え、またお引越先

でもすぐに使えます。

リミッターを「入」にすると電

気がつきまますので、リミッターに

取り付けてある「はがき」(申込
書)に必要事項を記入のうえ、ご
投函ください。
なお、口座振替のお申込も同時
にできます。

★連絡先(順不同)

加治木、始良、蒲生、溝辺……

(加治木営業所) ☎62-2128

国分、単人、霧島、福山……

(国分営業所) ☎46-0008

横川、牧園、栗野、吉松……

(横川営業所) ☎72-0025

※転出、転勤が決まったら、すぐ
九電へお知らせを。

牧 千尋 康博
藏園万里重 裕二
小園 美夏 裕司
山下 竜世 康治
徳永 晋也 章
上加世田創士 忍
有村 航 哲郎
大重 絢子 為映
井上 誠史 久夫
加藤 清也 清孝
東 明日香 克也
田中 須崎
▽一月二十日までに住民台帳に記
載された分を掲載いたしました。

無料
人権法律相談

鹿児島地方務局加治木支
局のほか、次の人権擁護委員
の方々が、自宅でも御相談に
応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

郡山政弘 木田一六一三一

(☎63-3585)

中摩多美子 反土二七五六

(☎62-2768)

篠崎利治 木田四二四二

(☎63-5175)

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきまし
た。厚く御礼申し上げ
ますとともに、故人の
ごめい福をお祈りいた
します。(一)内は故人

社会福祉協議会へ

二万円

平成7年 3月在宅医表

5	池田 医院	内科・小児科 加治木町本町358 ☎62-2220
12	川畑 内科	内科・小児科 加治木町錦江町234 ☎63-1499
19	壺岐 医院	内科 溝辺町有川812 ☎59-2019
21	ザ王 病院	内科・胃腸科 循環器科・理学療法科 加治木町反土2151-1 ☎62-4611
26	徳永 医院	内科・皮膚科 小児科 溝辺町麓1009 ☎58-2302

※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

萩原 松元勝正(母シヅエ七)
五万円 小鳥 小屋敷哲也(母秋江七)
五万円 吉原 副島敏明(妻 俊枝四)
十万円 田中 坂本正子(夫 祐信六)
三万円 岩原東 木村真太郎(父建志郎四)
三万円 毛上 三好之男(妻シカ子五)
五万円 里ノ下 山元英喜(母 ワイ九四)
五万円 隈原上 南和哉(父 武男九三)
五万円 隈原上 榎谷フミ子(夫早男七九)
三万円 南塩入 原口美津子
(母 湯浅キサエ七)
三万円 田中 坂本正子(夫 祐信六)
十万円 田中 坂本正子(夫 祐信六)
▽一月二十日までの御寄付を掲載
いたしました。(年齢は満年齢)